



明るい農業目指す

農業
大津 愛梨さん

「『半農半デジ』で明るい農業を目指す。さわやか東京娘（吉岡）」

「朝は早いけど、残業や会社の人間関係とは無縁の世界。農業、楽しいですよ。」

生まれも育ちも東京。大学で知り合った夫が農業を継いだ三年前、田舎に飛び込んだ。

都会のマンション暮らしから

隣近所の軋立が分かる集落へ。それが「こつても新鮮」。無農薬米の栽培、畜産など夫の仕事を手伝う。「周囲が『東京から来た嫁が田植機を運転してる』と心配してくれる。視線が温かいです」
大学卒業後にドイツ留学し、その土地に適した作物などを研究する「農村計画」を専攻。その経験を生かして地元の有志と、阿蘇の草資源をエネルギーに利用するNPO法人を設立。昨年、実用化の第一歩を踏み出した。

今年一月に双子の男児を出産。今は育児で忙しいが、「農閑期にパソコンでドイツ語の翻訳や研究報告をする『半農半デジ（タル）』生活が夢。明るい農業を目指します。」
（渡辺哲也）

おおつ・えり 阿蘇郡南阿蘇村在住。32歳

吉岡功治が撮る

顔 かお